

# MNR-GT

Noise-zero Transformer

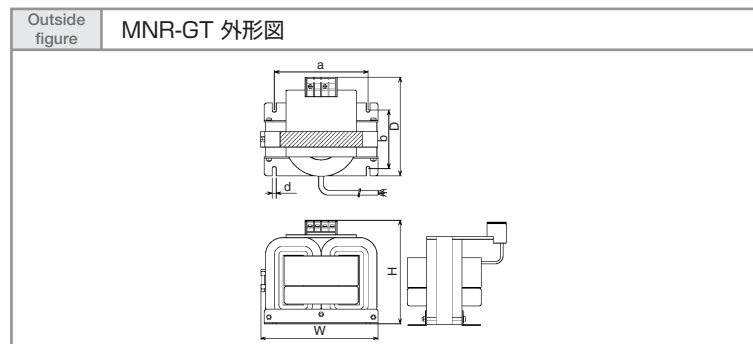
Special Delivery, High Quality & Originality



## 雷サージゼロトランス



Ecology Transformer



特許実願意匠登録等で保護されているユニオンオリジナル製品です。

**製品概要**

- 自社開発の雷サージ試験器による雷サージ標準波 (1.2/50  $\mu$ S, 30kV) の印加検査を全数に標準で実施し、その減衰波形を試験成績書として添付。
- 1次コイルは特殊絶縁構造のため、雷のエネルギーががっちりを受け止めます。ノイズゼロトランスと同等にシールドも完璧で、雷サージも下記の通り驚異的に減衰しています。
- ライン—アース間 (コモンモード) のサージアブソーバが不要であるため、基本的にメンテナンスフリーです。
- 通常の耐雷トランスとは異なり、アースなしでも能力を発揮します。
- 1次—アース、1次—2次 間の静電容量が非常に小さいため、漏洩電流が極端に少なくなっています。

漏洩電流 1次—E : 9  $\mu$ A (代表値) 1次—2次 : 7  $\mu$ A  
2次—E : 4  $\mu$ A  
回路条件 1回路 : 1回路 (タップ無し)  
接続端子 1次 : 端子台式 2次 : シールド線  
代表型番 : MNR-GT-6

※2次も端子台を採用しますと、減衰特性が若干犠牲になります。

- 40kVAを超える容量にも対応いたします。

型番	容量 (VA)	重量 (kg)	外形寸法			取付寸法		
			W	D	H	a	b	d
MNR-GT-4	200	4.6	150	135	140	114	74	4.5 $\phi$
-5	300	6.0	165	140	155	120	80	5.5 $\phi$
-6	500	7.2	175	150	160	130	86	〃
-7	750	9.2	185	165	175	150	94	〃
-8	1K	11.4	205	170	180	160	104	6.5 $\phi$
-9	1.5K	15.6	230	180	195	170	110	〃
-10	2K	21.8	260	195	215	200	130	8.5 $\phi$
-11	3K	26.0	270	205	235	210	〃	〃
-12	4K	34.0	285	225	280	220	140	〃
-13	5K	44.0	305	250	290	240	150	10.5 $\phi$
-14	7.5K	55.0	360	270	295	260	160	〃
-15	10K	74.5	380	300	305	290	190	〃
-16	15K	93.5	430	330	335	320	210	13 $\phi$
-17	20K	112.0	450	340	350	330	220	〃
-17.5	25K	127.0	470	355	360	360	230	〃
-18	30K	158.0	500	375	400	380	240	〃
-18.5	40K	204.0	550	395	430	390	260	〃

40kVA以上も製造可能ですので、外形寸法などをご連絡いただければお知らせします。

## ノイズゼロトランスとエコロジー

●表：各種トランスの無負荷損失・効率・重量一覧

型番	容量 (VA)	種類	無負荷損 (W)	全効率 (%)	重量 (kg)
MNR	500	元祖ノイズゼロトランス	6.5	95.3	6.0
NZL	500	薄型ノイズゼロトランス	8.5	95.3	7.0
MNR-GT	500	雷サージゼロトランス	7.6	94.4	7.1
NZME	500	廉価型ノイズレストランス	10.6	92.7	7.8
ME	500	非ノイズ対策シートコア絶縁トランス	10.1	92.3	7.8
MC	500	非ノイズ対策カットコア絶縁トランス	4.6	94.8	5.2
MNR	1500	元祖ノイズゼロトランス	10.5	97.5	12.1
NZL	1500	薄型ノイズゼロトランス	11.9	96.7	13.0
MNR-GT	1500	雷サージゼロトランス	12.9	96.3	15.9
NZME	1500	廉価型ノイズレストランス	25.2	93.8	18.8
ME	1500	非ノイズ対策シートコア絶縁トランス	22.6	96.2	17.8
MC	1500	非ノイズ対策カットコア絶縁トランス	9.9	97.0	11.4

表をじっくりご覧ください。そしてノイズゼロトランスと、通常のトランス、そしてできるなら他社のノイズ対策トランスと比較してください。大きくて、重いトランスほど多くの材料を使い、大きな無負荷損失を消費しています。無負荷損失は通常なら待機電力と言われるもので、待機時間が長い使用形態をとられる場合にはなるべく少なく抑えた方が良いことは言うまでもありません。省エネ、エコロジーが目される21世紀にこそ選ばれる価値のあるノイズゼロトランスです。

## ノイズゼロトランスの代表的な設置方法

詳細な結線方法はノイズゼロトランス本体に付属する取扱説明書をご覧くださいますが、以下に代表的な設置方法を図で紹介いたします。その際に大切なのは

- 入出力の配線をできるだけ離す
  - ▶ 配線間でのノイズ伝播を防止するために必要で、一緒に縛るなどは厳禁です。
- 接続部などではできるだけシールドする
  - ▶ 露出した導体は空間を伝播するノイズのアンテナになってしまいます。
- グランド系統図を作る
  - ▶ トランス部だけでなく、システム全体でグラウンドレベルや、アースへの接続方法を整理しておく、いざというときにノイズ解析を進めやすくなります。

